

平成 20 年度第 2 回四万十町地域公共交通会議 議事録

日 時：平成 20 年 10 月 24 日（金） 14：00～16：00

場 所：四万十町役場（3F）委員会室

出席者：別紙のとおり

1 開会あいさつ（会長）

会長の高瀬副町長による挨拶の後、前回欠席していた樫本委員から自己紹介が行われた。

2 議 題

（1） 第 1 回会議結果（要旨）について・今後の四万十町の公共交通の方向性について

企画課が資料 1 及び資料 2 に基づき説明を行い、まず最初に支線と幹線の考え方について意見を求めた。

【意見】

- ・ 国道を「主要な幹線」、路線バスが走る路線を「幹線」、デマンド運行等を行う路線を「支線」という捉え方がいいのではないか。
- ・ 国道と県道を「幹線」という捉え方にしてはどうか。
- ・ J R と並行する路線の利用が低いのは意外に感じた。
- ・ 国道 439 号の路線バスはなくてはならない。今は必要ないではなく、年をとった時にどうするか、地域の人が存続をどう考えていくのかが大切。
- ・ 窪川地域と、大正や十和地域とでは支線の持つ意味が違ってくる。地域の実態に合わせることも大切であり、今の段階は緩い枠組みで考えておいた方がいいのではないか。

【結論】

- ・ 今回の協議はこの辺にしておくが、今後の計画づくりに向けては、幹線部は「路線バスを運行する路線」、支線部を「それ以外のデマンド運行等の路線」という考え方で進めていって構わないか？
→意義なし

次に、今後の見直しや新たな仕組みづくりに向けて、具体的にどういった方向性が望ましいと考えるか、意見を求めた。

【意見】

- ・ 病院バスを走らせるには多大な経費がかかっているが、患者のことを考えると本来その経費は医療の方に必要なものだと思う。病院バスの姿は本来あるべきものではない。診療所バスについても同様である。
- ・ 病院バスについては課題があるが、診療所バスは路線バスが走っていないところを走っておりフィーダー効果がある。
- ・ 旧十和村で診療所バスの運行を始める時、路線バスと重複しないように配慮した経緯がある。

- ・ 病院バスは、基本的に患者を集めることだけを目的にしているのではないのでご理解願いたい。運行時間は診察に併せて行っており、診察が長引くと時間帯を変更するなど行っているが、それは路線バスだと難しい。正直、経費は高額だが、患者さんのことを考えると仕方ない。経営は厳しいが、いまのところは病院バスを止めるといった議論はされていない。
- ・ 今回、事務局が示した2つの方向性では、接合部分が大事になってくる。JRとの乗継についても分析していく必要があるし、料金の面でも例えば2つのバスを乗り継ぐとメリットがあるとか、バスとタクシーを乗り継ぐと割引が受けられるなどの方法もある。
- ・ 今回、事務局が示した方向性案は納得のいくものばかり。
- ・ 根底として2つの基本姿勢がある。一つ目は効率化について町の財政状況を言われるが、具体的に住民の足をどうやって確保するのか。もう一つは、住民が公共交通にもう少し親しみを持つためにどこに力点を置くのか。通勤にはバスを利用するよう推進するのか。住民の了解をどうやって得ていくのか。将来どうあるべきかを、今回、事務局が具体的に述べた方向から議論していけば、おのずと答えが見えてくる。
- ・ 北ノ川の乗継については協力していく。
- ・ スクールバスについては運行すると黒字になるという話があったが、一般混乗した場合には補助（普通交付税）はどうなるのか？また、支線部をデマンドにすると利用し難いのではないかな？
 - 無料で一般混乗をすることには問題ないが、有料になると普通交付税措置されない。
 - 旧大正町でも、以前、スクールバスへの有償混乗のことが問題になり、運転手が特殊免許をとりに行った経過がある。また、混乗に対して保護者が反対することもあった。
 - デマンド以外の仕組みについて検討していく必要はある。

（２） 住民意向調査の方針及び概要について

調査委託先である「くろしお地域研究所」の吉田代表取締役が資料3に基づき説明を行い、意見を求めた。

【意見】

- ・ 非常に多方にわたっているが、現状の移動制約者の意向を聞けるような調査にしてほしい。例えば、別枠で調査するとか。
- ・ 限界集落に住んでいる高齢者には、バス停まで来られないお年寄りが増えている。診療所バスが好まれ、タクシーが必要とされるのは、軒先まで来てくれるから。アンケートではそういう地域のことを把握していく必要がある。
- ・ 老人クラブ等の団体を通じたアンケートも行ってみてはどうか。
- ・ そもそも無作為で郵送法による1,000人アンケートとする理由はなんなのか？郵送法では、せいぜい20%くらいとればいい方である。
 - 今回、提案した内容については、ここで意見ができれば変更したい。
- ・ 出来ればインタビューなども行いながら確実に意見を聞く。診療所や路線バス利用者など、たくさんの方から意見を聞くことが大事。質問の内容についてだが、ガソリン代の高騰への対応などは一般的な問題。また、中学生に公共交通のあり方まで聞けるのか。私たちがアンケートを行う場合はA3裏表程度の量にしており、不必要と思われる項目は除く必要がある

と思う。

- ・ 解らない言葉が多く使われているので、用語説明を入れるなり、解りやすい言葉にかえるなりしてほしい。

【結論】

- ・ 今回、皆さんにいただいた意見をもとに、活用している補助事業を所管する県担当課に諮りながら、委託業者と事務局で見直しを図る。
- ・ 見直した内容は、幹事会で確認する。
※ アンケート内容で気になる点を、後日、藤塚先生が事務局に連絡くれる。

(3) 幹事会の設置について

企画課が資料4に基づき説明を行い、意見を求めた。

【意見】

- ・ 幹事会には、病院バス関係者は入れるべきではないか。
- ・ 藤塚先生と近藤専門官にも関わってもらいたいではないか。
- ・ 幹事会は、どの程度の周期で行うのか？
→最初は半月に一回くらいを考えている。ただ、アンケートを投げ掛けた後は、しばらくは未実施となる。

【結論】

- ・ 病院バス関係者も1名入れる。(会議後の協議で、くぼかわ病院の芝さんに決定)
- ・ 藤塚先生と近藤専門官にもアドバイザーという役割で関わってもらいたい。(会議への参加は難しくても資料へのアドバイスなど)

3 その他

次の会議は、幹事会を11月中旬頃に開催の予定。

第2回四万十町地域公共交通会議 出席者名簿

■ 委員

組 織 名		氏 名	出欠確認	備 考
道路運送法 9条で定める 必要のある委員	四万十町	副町長 高瀬 満伸	○	
	高知運輸支局	首席運輸企画専門官 一宮 軌善	○	代理：近藤
	(有)高南観光自動車	代表取締役 生田 則明	○	
	(有)北幡観光自動車	代表取締役 津野 常信	○	補佐：友永
	(有)窪川ハイヤー	山崎 健一	×	
	新生タクシー	佐竹 憲雄	×	
	丸三ハイヤー（本社）	三浦 ひろみ	○	
	十和ハイヤー（十川）	芝 恒雄	○	
	住民または旅客（窪川）	富岡地区 榎本 利一	○	
	住民または旅客（大正）	下津井地区 下本 治男	○	
	住民または旅客（十和）	大井川地区 谷崎 直子	○	
くぼかわ病院	事務長補佐 芝 司	○		
大西病院	事務部長 藤原 満子	○	代理：山本	
田辺医院	医院長 田辺 博之	×		
高橋内科・呼吸器科・消化器科	高橋 美華	○		
高知大学	准教授 藤塚 吉浩	○		
しまんと町社会福祉協議会	副会長 八木 雅昭	○		
四万十農業協同組合	営農推進課長 国廣 純一	○		
高知はた農業協同組合	支所長代理 藤本 憲一	×		
合 計		15名	補佐1名	

■ その他

- ・ 高知県地域支援企画員（公文、夕部）
- ・ 四万十町企画課（敷地、富田）
- ・ くろしお地域研究所（吉田） ※委託業者

出席者合計：21名